九州地方プリント No.9

答えの 選択肢の ○を 1つだけ ぬる。
まちがえたら けしゴムで けす。

名前

出席番号　　必要な人は書く

問1　沖縄県の県庁所在地である那覇市の歴史的・地理的背景に関する説明として、最も適切なものを選択肢から選びなさい。

- ○ かつての琉球王国の政治拠点であった首里に近く、古くから港町として発展した歴史を持つ。
- ○ 明治時代の廃藩置県において、鹿児島県の出先機関が置かれたことをきっかけに県庁所在地となった。
- ○ 九州地方の各県との物理的な距離が最も近いため、古くから九州の行政管区の一部として発展した。
- ○ 沖縄本島のちょうど中央部に位置し、米軍基地を返還した跡地に計画的に作られた行政都市である。

問2　九州の西側の海上から、長崎県付近を経て日本海側へと北上する海流があります。この海流の名称として正しいものはどれですか。

- ○ リマン海流
- ○ 黒潮（日本海流）
- ○ 親潮（千島海流）
- ○ 対馬海流

問3　九州地方南部の太平洋側に位置する宮崎県において、年間降水量が3000mmを超える国内有数の多雨地域となり、かつ年間を通じて温暖な気候が形成される要因として最も適切な説明はどれですか。

- ○ 黒潮（日本海流）の影響で気温は高いが、周囲を高い山々に囲まれた盆地状の地形であるため、湿った空気が入り込まず降水量は少なくなる。
- ○ 寒流である親潮（千島海流）の影響により夏でも涼しく、冬にシベリア高気圧から吹き出す湿った北西の季節風の影響で降水量が多くなる。
- ○ 対馬海流の影響を受けて年間を通じて温暖だが、中国山地と四国山地に挟まれているため、年間を通じて降水量は少なくなる。
- ○ 暖流である黒潮（日本海流）の影響を受けて温暖であり、夏から秋にかけての台風や湿った季節風の影響で降水量が多くなる。

問4　高知県や宮崎県では、冬季でも温暖な気候とビニールハウスなどの施設を利用することで、ピーマンやナスなどの作物を本来の時期よりも早く栽培・収穫して出荷しています。このような栽培方法を何といいますか。

- ○ 露地栽培
- ○ 二毛作
- ○ 抑制栽培
- ○ 促成栽培

問5　1990年代末から2010年にかけて、沖縄県を訪れる中国人観光客の数は474人から10,888人へと急増しました。このような変化が起きた背景にある、中国国内の経済状況の説明として最も適切なものはどれですか。

- ○ 中国の経済格差が完全に解消され、すべての農村部の人々が自由に沖縄へ旅行できるようになった。
- ○ 中国のGDPが世界第1位に到達し、政府が国民全員に海外旅行を義務付ける制度を導入した。
- ○ 中国のGDP（国内総生産）が増大し、国民の生活水準が向上したことで、海外旅行を楽しむ層が拡大した。
- ○ 中国国内の農業生産が停滞したため、食料を確保するために近隣諸国へ渡航する人々が増加した。

問6　九州地方南部に広がるシラス台地は、火山灰が堆積してできた地形で水はけが良すぎるため、古くから稲作には不向きとされてきました。このような自然環境を背景に、鹿児島県で特に発展した農業の特色として最も適切なものはどれですか。

- ○ 温暖な気候を利用したビニールハウスによるピーマンやきゅうりの促成栽培
- ○ 急傾斜地を切り拓いて作られた段々畑での温州みかんやレモンなどの果樹栽培
- ○ 広大な土地を利用した乳用牛の飼育と、バターやチーズなどの乳製品の加工
- ○ 水はけの良さを活かしたサツマイモなどの畑作や、肉用牛・豚などの畜産業

問7　九州南部の鹿児島県周辺に広がる、過去の火山活動による噴出物が厚く堆積して形成された台地を何といいますか。

- ○ シラス台地
- ○ 関東ローム層
- ○ 扇状地
- ○ カルデラ

問8　福岡市の月別降水量を分析すると、6月から9月にかけての月間降水量が150ミリメートルを大きく上回るピークが形成されています。初夏の梅雨の時期に加え、特に晩夏から初秋にかけて降水量が著しく増加する要因として、九州地方の地理的条件に関連する最も適切な説明はどれですか。

- ○ 夏から秋にかけてオホーツク海高気圧が発達し、冷涼で湿った北東の風が吹き込み続ける。
- ○ シベリア高気圧から吹き出す冷たく湿った北西の季節風が、山地にぶつかり上昇気流を発生させる。
- ○ 対馬海流の影響で大気が安定し、年間を通じて雨の少ない瀬戸内式の気候を形成する。
- ○ 地理的に台風の進路にあたりやすいため、激しい雨をもたらす熱帯低気圧の影響を強く受ける。

問9　九州地方の太平洋側に位置する宮崎市は、暖流である黒潮の影響を強く受けています。この地域の気候の特色を説明した文として、最も適切なものはどれですか。

- ○ 周囲を山地に囲まれているため、年間を通じて降水量が少なく乾燥している。
- ○ 1月の平均気温が0度を下回り、夏は短く涼しいが、冬の寒さは非常に厳しい。
- ○ 冬でも温暖な気候であり、6月や9月を中心に年間の降水量が非常に多い。
- ○ 北西からの季節風の影響で、冬の降水量が非常に多く、雪が降りやすい。

九州地方プリント No.9

赤い ○ が 正しい 答え。
まちがえた 問は もう一度 とこう。

こたえ

問1 沖縄県の県庁所在地である那覇市の歴史的・地理的背景に関する説明として、最も適切なものを選択肢から選びなさい。

- ● かつての琉球王国の政治拠点であった首里に近く、古くから港町として発展した歴史を持つ。
- ○ 明治時代の廃藩置県において、鹿児島県の出先機関が置かれたことをきっかけに県庁所在地となった。
- ○ 九州地方の各県との物理的な距離が最も近いため、古くから九州の行政管区の一部として発展した。
- ○ 沖縄本島のちょうど中央部に位置し、米軍基地を返還した跡地に計画的に作られた行政都市である。

問2 九州の西側の海上から、長崎県付近を経て日本海側へと北上する海流があります。この海流の名称として正しいものはどれですか。

- ○ リマン海流
- ○ 黒潮（日本海流）
- ○ 親潮（千島海流）
- ● 対馬海流

問3 九州地方南部の太平洋側に位置する宮崎県において、年間降水量が3000mmを超える国内有数の多雨地域となり、かつ年間を通じて温暖な気候が形成される要因として最も適切な説明はどれですか。

- ○ 黒潮（日本海流）の影響で気温は高いが、周囲を高い山々に囲まれた盆地状の地形であるため、湿った空気が入り込まず降水量は少なくなる。
- ○ 寒流である親潮（千島海流）の影響により夏でも涼しく、冬にシベリア高気圧から吹き出す湿った北西の季節風の影響で降水量が多くなる。
- ○ 対馬海流の影響を受けて年間を通じて温暖だが、中国山地と四国山地に挟まれているため、年間を通じて降水量は少なくなる。
- ● 暖流である黒潮（日本海流）の影響を受けて温暖であり、夏から秋にかけての台風や湿った季節風の影響で降水量が多くなる。

問4 高知県や宮崎県では、冬季でも温暖な気候とビニールハウスなどの施設を利用することで、ピーマンやナスなどの作物を本来の時期よりも早く栽培・収穫して出荷しています。このような栽培方法を何といいますか。

- ○ 露地栽培
- ○ 二毛作
- ○ 抑制栽培
- ● 促成栽培

問5 1990年代末から2010年にかけて、沖縄県を訪れる中国人観光客の数は474人から10,888人へと急増しました。このような変化が起きた背景にある、中国国内の経済状況の説明として最も適切なものはどれですか。

- ○ 中国の経済格差が完全に解消され、すべての農村部の人々が自由に沖縄へ旅行できるようになった。
- ○ 中国のGDPが世界第1位に到達し、政府が国民全員に海外旅行を義務付ける制度を導入した。
- ● 中国のGDP（国内総生産）が増大し、国民の生活水準が向上したことで、海外旅行を楽しむ層が拡大した。
- ○ 中国国内の農業生産が停滞したため、食料を確保するために近隣諸国へ渡航する人々が増加した。

問6 九州地方南部に広がるシラス台地は、火山灰が堆積してできた地形で水はけが良すぎるため、古くから稲作には不向きとされてきました。このような自然環境を背景に、鹿児島県で特に発展した農業の特色として最も適切なものはどれですか。

- ○ 温暖な気候を利用したビニールハウスによるピーマンやきゅうりの促成栽培
- ○ 急傾斜地を切り拓いて作られた段々畑での温州みかんやレモンなどの果樹栽培
- ○ 広大な土地を利用した乳用牛の飼育と、バターやチーズなどの乳製品の加工
- ● 水はけの良さを活かしたサツマイモなどの畑作や、肉用牛・豚などの畜産業

問7 九州南部の鹿児島県周辺に広がる、過去の火山活動による噴出物が厚く堆積して形成された台地を何といいますか。

- ● シラス台地
- ○ 関東ローム層
- ○ 扇状地
- ○ カルデラ

問8 福岡市の月別降水量を分析すると、6月から9月にかけての月間降水量が150ミリメートルを大きく上回るピークが形成されています。初夏の梅雨の時期に加え、特に晩夏から初秋にかけて降水量が著しく増加する要因として、九州地方の地理的条件に関連する最も適切な説明はどれですか。

- ○ 夏から秋にかけてオホーツク海高気圧が発達し、冷涼で湿った北東の風が吹き込み続ける。
- ○ シベリア高気圧から吹き出す冷たく湿った北西の季節風が、山地にぶつかり上昇気流を発生させる。
- ○ 対馬海流の影響で大気が安定し、年間を通じて雨の少ない瀬戸内式の気候を形成する。
- ● 地理的に台風の進路にあたりやすいため、激しい雨をもたらす熱帯低気圧の影響を強く受ける。

問9 九州地方の太平洋側に位置する宮崎市は、暖流である黒潮の影響を強く受けています。この地域の気候の特色を説明した文として、最も適切なものはどれですか。

- ○ 周囲を山地に囲まれているため、年間を通じて降水量が少なく乾燥している。
- ○ 1月の平均気温が0度を下回り、夏は短く涼しいが、冬の寒さは非常に厳しい。
- ● 冬でも温暖な気候であり、6月や9月を中心に年間の降水量が非常に多い。
- ○ 北西からの季節風の影響で、冬の降水量が非常に多く、雪が降りやすい。